

地方独立行政法人府中市病院機構
第1期中期目標期間の業務実績に関する評価

平成28年8月
地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

はじめに

地方独立行政法人府中市病院機構（以下「病院機構」という。）は、平成24年度に地方独立行政法人として、府中市民病院、府中北市民病院を運営する法人として設立され、平成27年度をもって、第1期中期目標の期間を終了したため、本評価委員会は、「地方独立行政法人府中市病院機構の業務実績に関する評価の基準」に基づき、病院機構の第1期中期目標期間の業務実績に関する評価を行った。

評価については、第1期中期目標に掲げられた大項目ごとに行う「項目別評価」と、業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」を行った。項目別評価では、評価委員会での各年度の評価結果を踏まえつつ、中期目標期間の達成状況について評価委員相互で意見交換を行い、大項目評価をまとめた。

また、全体評価では、項目別評価を踏まえつつ、高齢化が進展する地域住民の社会生活を「支える医療」の具体的取組をはじめ、法人化を契機とした病院改革の取組にも注目して、総合的な評価を行った。

この評価を踏まえ、病院機構におかれては、地域に必要な医療の提供を図るとともに、健全な病院運営の実現に向けて、更なる改革に取り組まれない。

第1 全体評価

病院機構の第1 期中期目標期間中の目標を大別すると、1 つは「府中市民・府中北市民の2 つの病院機能を存続させ、両病院の診療圏で果たすべき役割を確立して高齢化が進展する地域のニーズに適合した医療を提供すること」、もう1 つは「地方独立行政法人制度の特徴を活かして、医療需要や医療制度等の変化に対応するとともに、民間的経営手法を最大限に活かした効率的経営によって病院運営を立て直し、その継続性を担保すること」であり、病院機構では、第1 期中期目標の達成に向け、中期計画を策定するとともに、各年度において実施すべき事項等を定めた年度計画を策定し、様々な取組を行ってきた。

第1 期中期目標期間中の業務実績については、全体として、概ね計画どおりに進んでおり、目標を概ね達成したものと評価しているが、財務面に関しては、目標達成には至らず、厳しい評価とせざるを得ない。

大項目別にみると、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」及び「その他業務運営に関する重要事項」に関しては、府中市民病院の改築をはじめとした病院施設・設備の整備、予防医療の推進や巡回診療の開始など、年度ごとに定めた目標がこの4 年間着実に達成されていると評価した。

また、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関しては、業務運営の改善という非常に重要な内容であり、中期目標期間の最終年度である平成27 年度の評価結果が「概ね計画どおり」であったことを踏まえ、中期目標の達成状況は概ね計画どおりと評価した。

一方で、「財務内容の改善に関する事項」に関しては、平成25 年度から3 期連続して経常収支比率100 パーセント以上という目標を達成できず、赤字決算であったことを踏まえ、C 評価（目標からやや遅れている）という厳しい評価とした。

病院機構におかれては、これらの評価及び委員の意見等を踏まえ、府中市行政との協力の下、運営する2 病院の将来像を、期限を定めて明示するとともに、強靱な財務基盤を構築するため、収益の確保のみならず、支出の削減に向けた抜本的改革に取り組み、また、病院事業の継続性確保に向けた計画的な職員採用や職員研修等も進め、早期に経営基盤、運営体制の両面での強化を図り、自律した病院運営体制の確立を図られたい。

第2 期中期目標期間を飛躍の時期にするためにも、今後の病院機構の改革に大いに期待している。

第2 項目別評価

1 大項目評価（集計結果は別紙を参照）

中期目標期間の大項目の評価結果は、S評価からD評価までの5段階で、次のとおりである。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

A評価

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

B評価

第3 財務内容の改善に関する事項

C評価

第4 その他業務運営に関する重要事項

A評価

《参考》

S評価…進捗状況は優れて順調

C評価…やや遅れている

A評価…順調に進んでいる

D評価…遅れている

B評価…概ね計画どおり

第1期中期目標期間の大項目評価の集計結果

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項					4年間の平均	評価結果
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
大項目評価	A	A	A	A	2.8	A
平均	2.8	2.8	2.8	2.8		
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項					4年間の平均	評価結果
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
大項目評価	A	B	A	B	2.7	B
平均	2.8	2.5	2.8	2.5		
第3 財務内容の改善に関する事項					4年間の平均	評価結果
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
大項目評価	A	C	C	B	2.4	C
平均	3.0	2.0	2.0	2.5		
第4 その他業務運営に関する重要事項					4年間の平均	評価結果
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
大項目評価	A	A	A	A	3.0	A
平均	3.0	3.0	3.0	3.0		
予算、収支計画及び資金計画					4年間の平均	評価結果
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
大項目評価	—	—	—	—	—	—
平均	—	—	—	—		
短期借入金の限度額					4年間の平均	評価結果
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
大項目評価	A	—	—	—	—	—
平均	3.0	—	—	—		
剰余金の使途					4年間の平均	評価結果
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
大項目評価	A	A	—	—	—	—
平均	3.0	3.0	—	—		

地方独立行政法人府中市病院機構
第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果
【大項目評価】

平成28年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

府中市病院機構の概要

1 病院機構の概要

(1) 目標

地方独立行政法人府中市病院機構（以下「法人」という。）は、良質で安全な医療を提供するとともに、地域の医療機関及び府中市と連携して、住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的に、平成24年4月1日に設立されました。この目的を達成するため、法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを病院運営の基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化を目指します。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすために健康を維持し、市民の生活の質を高める「支える医療」であり、この達成に向けて保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

(2) 業務（定款第19条）

- ① 医療を提供すること。
- ② 医療に関する調査及び研究を行うこと。
- ③ 医療に従事する者に対する研修を行うこと。
- ④ 人間ドック、健康診断等の予防医療を提供すること。
- ⑤ 災害時における医療救護を行うこと。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

(3) 資本金の状況

設立時： 14,466,680円

増資： 401,413,000円（平成28年2月1日 府中市民病院に係る土地出資）

計： 415,879,680円（全額 府中市出資）

(4) 役員の状況

役 職	名 前	任 期	備 考
理事長	多田 敦彦	H24.4.1～H28.3.31	府中市民病院 院長
理 事	横 矢 仁	H24.4.1～H26.3.31	府中北市民病院 院長（H26.3.31 退職）
理 事	北村 智樹	H24.4.1～H28.3.31	府中市民病院 副院長

理事	近森 正和	H24. 4. 1～H27. 10. 31	府中市民病院 副院長 (H27. 10. 31 退職)
理事	長谷川 和子	H24. 4. 1～H28. 3. 31	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	H24. 4. 1～H28. 3. 31	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	H24. 4. 1～H28. 3. 31	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	H24. 4. 1～H28. 3. 31	弁護士

(5) 職員の状況 (各年度4月1日現在) ※臨時職員を除く。 (単位：人)

職 種		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備 考
医師	府中市民	11	11	10	10	非常勤医師を除く。
	府中北市民	4	3	5	3	
看護師	府中市民	104	102	108	110	
	府中北市民	35	33	32	31	
准看護師	府中市民	4	6	6	5	
	府中北市民	3	4	6	6	
介護福祉士	府中市民	5	6	6	6	
	府中北市民	8	8	8	8	
薬剤師	府中市民	3	2	4	4	
	府中北市民	2	2	1	2	
技師	府中市民	25	25	26	27	診療放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
	府中北市民	13	13	12	13	
事務	府中市民	13	11	12	15	
	府中北市民	7	6	6	5	
計	府中市民	165	163	172	177	
	府中北市民	72	69	70	68	
	法人計	237	232	242	245	

(6) 決算の状況

(単位：円、%)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収益	営業収益	3,462,566,662	3,493,760,892	3,415,530,757	3,453,351,493
	営業外収益	38,352,557	35,733,721	34,036,896	34,869,531
	臨時利益	196,000	26,930	169,545	40,000
費用	営業費用	3,420,058,177	3,600,683,840	3,500,635,265	3,549,155,441
	営業外費用	37,567,614	35,618,167	33,626,027	31,973,486
	臨時損失	0	0	22,198,109	0
当期純損益		43,489,428	▲106,780,464	▲106,722,203	▲92,867,903
市からの財政支援		490,000,000	440,000,000	420,000,000	450,000,000
経常収支比率		101.3	97.1	97.6	97.4

(7) 病院の状況

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> <u>へき地医療拠点病院</u> ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設 ・日本呼吸器学会関連施設 ・日本透析医学会教育関連施設 ・日本アレルギー学会準教育施設 ・日本大腸肛門病学会認定施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ・広島大学病院協力型臨床研修病院 ・日本消化器病学会関連施設 ・日本整形外科学会専門医研修施設 <u>訪問看護ステーション</u>
所 在 地	府中市鶉飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設 立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病 床 数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	60 床 (一般 60 床)

	H24.4.1 150床（一般2病棟100床・療養1病棟50床）	H24.4.1 70床（一般1病棟35床・療養1病棟35床） H26.7.1 60床（一般1病棟60床）
診療科目	内科・外科・整形外科・婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・ 眼科・精神科	内科・外科・整形外科・婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿 器科・リハビリテーション科

2 全体的な状況

第1期中期目標期間（以下「中期目標期間」という。）の目標は、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率100パーセント以上を達成すること、また、府中市民及び府中北市民病院（以下「両病院」という。）それぞれの診療圏域における役割を明確にし、それぞれの地域に必要な医療が提供できるよう、次期中期目標の策定に繋がる経営改善に取り組むことにありました。

第1期中期計画期間では、両病院の病院事業の継続性、確実性を確保するため、府中市民病院では平成26年度までの3年間で一部事務職員を除き、広島県厚生農業協同組合連合会（以下「JA 広島厚生連」という。）からの職員転籍を完了し、法人採用の職員体制を確立したことで、両病院間の効果的な人事配置が可能になりました。また、府中市民病院の新病院建築工事も予定通り完了し、平成28年2月から新病院での業務を開始しています。将来にわたって地域医療を持続するために必要な、人材確保や施設設備の基盤整備ができました。

しかしながら、法人全体の経営成績では、中期目標期間の最終年度も赤字決算となり、経常収支比率100パーセント以上を達成することはできませんでした。

中期目標期間の初年度と最終年度の比較では、府中市民病院は、入院収益142,360千円増、外来収益47,234千円増、府中北市民病院は、入院収益75,009千円減、外来収益60,211千円減となりました。病床については、府中市民病院は、一般病床100床は変更なし、療養病床50床（医療38床、介護12床）は介護12床を廃止（平成27年11月）し、医療50床に変更しました。府中北市民病院は、2病棟（一般35床、療養35床）のうち1病棟（療養35床）を廃止し、1病棟（一般60床）に変更（平成26年7月）しました。また、訪問看護ステーションの開設（平成26年10月）と、上下地域で初のサービスとなる24時間定期巡回・随時対応型の「訪問介護看護事業ささえ」の開設準備を進めました。（平成28年4月開設）第2期中期目標期間では、病院運営を取り巻く情勢を的確に見据えた両病院の将来像を確立し、府中市全体としての地域包括ケア体制構築に努め、また、法人の管理運営体制を強化し、経営基盤の強化を図るための組織改革に取り組む必要があります。

3 大項目ごとの特記事項

(第1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

府中市民病院は、広島県地域医療再生計画に掲げられた病院の建て替えに着手し、平成27年12月末に病棟工事が完了、平成28年2月1日に地域住民を支える医療を推進するための施設・設備を備えた新病院へ移転しました。旧病棟の解体、駐車場や外構工事など全ての工事が平成28年10月末に完了し、同年11月にグランドオープンを予定しています。新病院では、電子カルテシステムの新規導入により、ICTによる医療連携（HM ネット）への参加が可能となり、地域の医療機関等との連携をさらに推進します。予防医療では、初年度から積極的に健診拡大に取り組み、4年間で大きく実績を伸ばし、現在では、医師の検査体制の限界まで到達しています。支える医療の一つとして、府中市内の準無医地区への巡回診療を開始するため、平成27年4月1日、広島県からへき地医療拠点病院の指定を受け、広島県北部地域等移動診療車を毎月2回運行し、2地区（久佐地区、協和地区）での診療を開始しました。法人設立による2病院の経営統合の成果として、平成27年4月1日、常勤医師が1名減となる府中北市民病院の診療機能を維持するため、府中市民病院から府中北市民病院へ内科常勤医師1人を異動し、常勤医師3人体制を継続しました。

府中北市民病院は、平成26年度の病棟再編に伴い訪問看護師1名を増員し、在宅医療を推進するため訪問看護ステーションを設置しました。平成27年度は、上下地域で初のサービスとなる訪問看護と訪問介護を一体的に提供する新規事業所、訪問介護看護事業所「ささえ」の開設準備を行い、内部異動による職員配置や事業に必要な機器等を整備し、平成28年4月1日、事業所を開設しました。

(第1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		事業年度評価結果				第1期中期目標期間の評価
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
中期目標	中期計画	A	A	A	A	A
1 提供する医療の内容 (1) 高齢化に対応した医療	地域の実情に即し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療を適切に取り入れ、高齢者に多い慢性期の患者に寄り添い、地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。	<p>【平成24】訪問診療、訪問看護・訪問リハビリを充実させるため、訪問看護師を1名増員した（府中北）。外来患者と家族を対象に、糖尿病教室を再スタートさせた（府中）。</p> <p>【平成25】府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、訪問看護ステーション「あゆみ」が地域拠点（サブセンター）の一つに指定された（府中）。</p> <p>地域医療連携室に経験豊富な職員（社会福祉士）を1人採用し、地域連携機能を充実させた（府中北）。</p> <p>【平成26】府中市民病院のへき地医療拠点病院指定と、準無医地区への巡回資料開始に向けて、関係機関との調整を行った（法人）。看護師を1名増員し、訪問看護ステーションを開設した（府中北）。</p>				

(2) 予防医療

「支える医療」の一つとして、市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした、病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。

(3) 救急医療への対応

地域の医療機関と連携・補完しながら、急性期患者への速やか

【平成 27】平成 27 年 4 月 1 日、広島県のへき地医療拠点病院に指定される。同年 6 月から、広島県北部地域等移動診療車を運行し、準無医地区の久佐・協和両地区での巡回診療を実施した（府中）。24 時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の平成 28 年 4 月 1 日の開設に向けて、人員配置や通信機器等の整備を行った（府中北）。

【平成 24～27】市民病院として、人間ドック・特定健診・がん検診を積極的に実施した（法人）。

【平成 25】放射線科に女性の技師を採用し、マンモグラフィー検診を受検する女性に配慮した（府中）。

【平成 26】上下地域の健診機能を維持するため、マンモグラフィーを更新した。（府中北）

（単位：人）

	種 別	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 24→ 27 年度
府 中 市 民 病 院	人間ドック	207	309	307	319	112
	協会健保等	133	500	640	681	548
	特定健診	127	156	301	256	129
	がん検診	969	964	1,248	1,364	395
府 中 北 市 民 病 院	人間ドック	89	85	96	81	▲8
	特定健診	200	201	250	277	77
	がん検診	574	505	546	611	37

【平成 24～27】府中市民病院は二次救急輪番制病院として外科の 24 時間 365 日の緊急手術に対応する職員体制を継続し、府中北市民病院は救急告示病院として、上下地区の急性期患者に対応している。ま

<p>(4) 災害医療への協力</p>	<p>な対応を行います。そのため、救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。</p> <p>災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。また、市が行う防災訓練等にも積極的に協力します。</p>	<p>た、府中地区医師会の在宅当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し当番医の減少を補完し、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急手術件数 平成 24 年度 28 件・平成 25 年度 41 件・平成 26 年度 57 件・平成 27 年度 32 件 ・両病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術件数 平成 24 年度 17 件・平成 25 年度 23 件・平成 26 年度 27 件・平成 27 年度 22 件 <p>【平成 24～27】災害発生時など、行政からの要請はなかった。</p> <p>【平成 24】府中市の総合防災訓練に、常勤医師（1 名）看護師（2 名）が参加し、被災患者のトリアージ訓練を行った（府中）。</p> <p>【平成 25～27】府中市民病院 ICLS コース研修会（患者救命率向上のための実技研修）は、毎年度、継続して実施した（府中）。</p> <p>【平成 26】新病院の設計にあたり、1 階のセミナー室、ホワイエを災害時の受け入れ場所とし、酸素配管、吸引配管を整備した（府中）。</p>
<p>2 診療機能の確保</p> <p>(1) 診療科目の整備</p>	<p>府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	<p>【平成 24】府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合を開催し、情報交換を行った。福山市新市町で開業する泌尿器科医（ときながクリニック）が、府中市民病院で診療（週 1 回）を開始することが決定した（府中）。</p> <p>【平成 25】平成 26 年 4 月から月 2 回（第 2、4 金曜日）、福山市民病院から循環器内科の診療支援を開始することが決定した。</p> <p>【平成 26】地域医療病院コンソーシアム府中を構成する社会医療法人社団陽正会と法人の連携会議を、毎月の定例会議とした。</p> <p>多田院長の呼吸器専門外来（月 1 回）に加え、5 月から府中市民病院の内科（呼吸器）常勤医師が、毎週金曜日に外来診療を開始した（府中北）。</p> <p>【平成 27】府中市民病院から府中北市民病院へ内科常勤医師を 1 人異動、常勤医師 3 人体制を維持した。</p>

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

小児救急医療及び分娩の再開については、府中地域だけでなく広域的な連携体制が必要であり、その連携体制の中で2病院が果たすべき役割を検討します。

府中市民病院では、毎週2日広島大学病院から内視鏡検査（上部・下部）のため、専門医の診療支援が開始された。

【平成25～27】両病院とも、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行っている。現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応している。
(単位：人、件)

府中市民病院	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
外来患者数	2,597	2,371	2,478	2,371
子宮がん検診	431	288	430	451
府中北市民病院	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
外来患者数	603	564	592	529
子宮がん検診	64	85	89	93

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れ、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室が中心的な役割を果たします。在宅支援システムとは、平成19年度の「広島県地域ケア体制整備構想」において府中市が策定した

【平成24】市の第1回地域医療シンポジウムで、多田理事長が「府中市病院機構の使命」と題して、医療と介護の連携について発表した。「在宅支援システム」のツールとなるICT利用について、市と法人の職員が、長崎「あじさいネット」を視察し、府中地区医師会の理事会で報告した。

【平成25】府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、在宅医療拠点となる5つのサブセンターのうちの一つを、府中市民病院の訪問看護ステーションが担っている。

【平成27】平成28年2月から業務を開始した新病院に、医療（地域医療連携室、訪問看護ステーション）と介護（市の地域包括支援センター）の総合相談窓口を、住民が利用しやすい1階に設けた（府中）。24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の開設準備を進めた。平成28年4月1日、事業所を開設した（府中北）。

電子カルテシステム導入による医療連携の推進のため、広島県のHMネットへの参加環境を整備した（府中）。

<p>4 医師、医療従事者の確保</p> <p>(1) 臨床研修体制の充実</p>	<p>モデルプランで、在宅医療の提供と、高齢者と介護者を一緒に見守る公的なサービスを提供するものです。</p> <p>広島大学及び岡山大学の両医療機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。</p>	<p>【平成 24～27】法人と社会医療法人社団陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催する「岡山マッチングプラザ」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として毎年出展している。府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行っている。</p> <table border="1" data-bbox="943 671 1809 871"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医</td> <td>3 人</td> <td>2 人</td> <td>1 人</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>2 人</td> <td>3 人</td> <td>1 人</td> <td>5 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【平成 25】寺岡記念病院の学生（岡山大学）研修プログラムで、府中市民病院が半日担当した（府中）。</p> <p>平成 27 年度末時点で、3 人の看護学生に奨学金を貸与した。平成 29 年度に、そのうち 2 人の採用を予定している。</p> <p>【平成 24～27】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや同学院への講師派遣を実施した。また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、県立広島大学、JA 広島厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れている（府中）。</p> <p>【平成 25】地域医療連携室の社会福祉士が、県立三次看護専門学校の学生に対する社会福祉学の講義を行っている（府中北）。</p>	実績	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	研修医	3 人	2 人	1 人	1 人	学生	2 人	3 人	1 人	5 人
実績	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度													
研修医	3 人	2 人	1 人	1 人													
学生	2 人	3 人	1 人	5 人													
<p>(2) 看護系大学などとの連携</p>	<p>看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。</p>																

<p>5 地域住民とともに守る病院づくり</p> <p>(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上</p>	<p>地域住民に信頼される病院づくりを目指して、患者サービスの向上を図るため、患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めます。</p> <p>また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めます。</p>	<p>【平成 24～27】患者や家族など、病院利用者からのご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、改善を図った。</p> <p>また毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を実施しており、総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境を把握している（府中）。</p> <p>1 階ロビーを開放し、地域住民への院内ミニコンサートを開催した（府中北）。</p> <p>【平成 27】新病院のレストランは、学ぶ（生活習慣病予防の食事と啓発）集う（高齢者や一人世帯への支援）拡がる（地域交流の場所）として、平成 28 年 2 月 1 日から営業を開始した（府中）。</p>
<p>(2) 医療安全対策の徹底</p>	<p>院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。</p>	<p>【平成 24～27】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を病院全体で共有、また定期的に研修会を開催している。</p> <p>毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認した。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催した。</p>
<p>(3) 市民への積極的な情報提供</p>	<p>病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう病院のホームページや広報紙等により積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。</p>	<p>【平成 24～27】毎年、市の健康&福祉まつりに参加し、2 病院の看護師による健康相談を実施している。また、看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で健康相談を実施するとともに、地元の夏祭りなどイベントへの出店、地域住民対象の講演会への講師派遣をしている。</p> <p>市の広報へ、病院の紹介記事をシリーズで掲載。新病院の業務開始に合わせ、広報紙をリニューアルし、法人広報紙「ささえ」を発行した。</p> <p>広報紙の発刊数</p> <p>【法人】平成 24 年度 2 回・平成 25 年度 1 回・平成 26 年度 0 回・平成 27 年度 1 回</p>

(第2) 業務運営の改善及び効率化に関する事項

JA 広島厚生連府中総合病院の病院事業を引き継いだ府中市民病院は、病院事業の継続性、確実性を確保するため、平成 24 年度から平成 26 年度の 3 年間で法人独自職員への移行を完了させ、法人としての職員体制を確立しました。そのことにより、両病院の限られた人材を効果的に配置し、効率的な組織体制が可能となりました。平成 27 年度には両病院間の人事交流を開始し、府中市民病院の療養病棟の病床変更を図るため、府中北市民病院の看護師 1 人、介護福祉士 2 人を府中市民病院へ異動しました。また、府中北市民病院の新規事業、訪問介護看護事業所「ささえ」の開設準備のため、介護福祉士 5 人の内部異動を行いました。事務職については、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っているため、中期目標期間の 4 年間で全ての職員を法人採用職員に移行することはできませんでしたが、今後も、法人として計画的な採用・育成に取り組めます。

働きやすい職場環境の整備では、新病院の 2 階に院内保育所「おひさま」を引き続き設置し、平成 28 年度からは病児保育も実施されます。

(第2) 業務運営の改善及び効率化に関する事項		事業年度評価結果				第 1 期中期目標期間の評価
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
中期目標	中期計画	A	B	A	B	B
1 組織・機構の整備	<p>病院事業の継続性、確実性を確保し、併せて病院自身の経営企画機能を強化するとともに、職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現します。</p> <p>また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ります。</p>	<p>【平成 24～27】理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告した。府中市民病院では、院長、副院長（2 名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を立ち上げ、毎週定例で開催した。</p> <p>両病院とも、毎月の定例院内会議（幹部会）で、経営状況や事業実績の共有化を図った。</p> <p>【平成 24～25】各部署の積極的な取り組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催した（府中）。</p> <p>【平成 26】府中市民病院へ JA 広島厚生連からの人的支援期間の 3 年間で終了し、法人独自職員への移行が完了した。一部の事務職員については、引き続き、市からの派遣を受けている。</p> <p>【平成 27】法人として両病院間の人事交流を開始し、府中市民病院の療養病棟の病床変更を図るため、府中北市民病院の看護師 1 人、介護福祉士 2 人、府中市民病院へ異動した。</p> <p>経営戦略室に専任職員を 1 人配置し、経営戦略機能を強化した（府中）。府中北市民病院の新規事業、訪問介護看護事業所「ささえ」の開設準備のため、介護福祉士 5 人の院内部署異動を行った（府中北）。</p>				

<p>2 職員教育体制の充実</p>	<p>全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備します。</p>	<p>【平成 24～27】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="940 287 2038 686"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">府中市民病院</th> <th colspan="4">府中北市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医 師</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看 護 師</td> <td>95</td> <td>106</td> <td>102</td> <td>97</td> <td>57</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>医療技術職員</td> <td>92</td> <td>83</td> <td>90</td> <td>124</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>事 務 職 員</td> <td>15</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>36</td> <td>17</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>合計(延人数)</td> <td>223</td> <td>240</td> <td>244</td> <td>272</td> <td>104</td> <td>91</td> <td>96</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>	区分	府中市民病院				府中北市民病院				平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	医 師	21	23	23	15	10	10	8	2	看 護 師	95	106	102	97	57	38	45	46	医療技術職員	92	83	90	124	20	9	8	18	事 務 職 員	15	28	29	36	17	34	35	50	合計(延人数)	223	240	244	272	104	91	96	116
区分	府中市民病院				府中北市民病院																																																											
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度																																																								
医 師	21	23	23	15	10	10	8	2																																																								
看 護 師	95	106	102	97	57	38	45	46																																																								
医療技術職員	92	83	90	124	20	9	8	18																																																								
事 務 職 員	15	28	29	36	17	34	35	50																																																								
合計(延人数)	223	240	244	272	104	91	96	116																																																								
<p>3 事務職員の育成</p>	<p>医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。</p>	<p>【平成 24～27】事務職員については、法人採用の職員へ移行中である。現在、市からの派遣職員が各業務の中心的な事務を担っており、今後は、法人として特に計画的に採用・育成を進める必要がある。</p> <p>事務職員の内訳（総務・人事・医事）</p> <table border="1" data-bbox="940 877 1993 1356"> <thead> <tr> <th colspan="2">職員区分</th> <th>平成 24 年 4 月</th> <th>平成 25 年 4 月</th> <th>平成 26 年 4 月</th> <th>平成 27 年 4 月</th> <th>平成 28 年 4 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">府中市民病院</td> <td>法人</td> <td>4 人</td> <td>6 人</td> <td>6 人</td> <td>8 人</td> <td>7 人</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>4 人</td> <td>3 人</td> <td>3 人</td> <td>3 人</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>JA 広島厚生連</td> <td>3 人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">府中北市民病院</td> <td>法人</td> <td>1 人</td> <td>1 人</td> <td>1 人</td> <td>2 人</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>4 人</td> <td>4 人</td> <td>3 人</td> <td>3 人</td> <td>2 人</td> </tr> </tbody> </table>	職員区分		平成 24 年 4 月	平成 25 年 4 月	平成 26 年 4 月	平成 27 年 4 月	平成 28 年 4 月	府中市民病院	法人	4 人	6 人	6 人	8 人	7 人	府中市	4 人	3 人	3 人	3 人	3 人	JA 広島厚生連	3 人	—	—	—	—	府中北市民病院	法人	1 人	1 人	1 人	2 人	3 人	府中市	4 人	4 人	3 人	3 人	2 人																							
職員区分		平成 24 年 4 月	平成 25 年 4 月	平成 26 年 4 月	平成 27 年 4 月	平成 28 年 4 月																																																										
府中市民病院	法人	4 人	6 人	6 人	8 人	7 人																																																										
	府中市	4 人	3 人	3 人	3 人	3 人																																																										
	JA 広島厚生連	3 人	—	—	—	—																																																										
府中北市民病院	法人	1 人	1 人	1 人	2 人	3 人																																																										
	府中市	4 人	4 人	3 人	3 人	2 人																																																										

4 働きやすい職場環境の整備	職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。	<p>【平成 24～27】法人スタート時の人事給与制度に変更なし。</p> <p>【平成 26】市の運営（業者委託）により、平成 26 年 10 月に院内保育所「おひさま」（定員 8 人）が開所された。（府中）</p> <p>【平成 27】新病院の 2 階に、院内保育所「おひさま」を移転し、平成 28 年 4 月から病児保育も実施される。</p>
----------------	---	--

（第 3）財務内容の改善に関する事項

府中市民病院では、法人設立時に、医事業務の経験豊富な人材を医事課長に採用し、毎年度、医事課職員を積極的に診療報酬関連研修会に参加させるだけでなく、日常的に業務のレベルアップを図り、届出の可能な加算・管理料等の新規申請を行うことで、収益増加に努めています。総務課では、備品・消耗品・修繕の依頼伝票を、各部署の管理者の確認印を必須とし、総務課への依頼ルートを 1 本化することで、支出のチェック機能を強化しました。また、病床管理については、毎朝、病棟の各看護師長、外来看護師長、地域医療連携室職員、医事課長が調整会議を行い、病床の効率的な運用に努め、高い病床利用率を維持しています。

府中北市民病院では、平成 26 年 7 月 1 日、看護師の退職に対応した病棟夜勤体制の維持と空床が多い療養病床の有効活用のため、2 病棟（一般 35 床、療養 35 床）の療養病床を廃止し、1 病棟（一般 60 床）へ病棟再編を行いました。

今後は、両病院とも、より地域に必要とされる病床として、病床の一部を地域包括ケア病棟・病床への転換を図ります。

(第 3) 財務内容の改善に関する事項		事業年度評価結果				第 1 期中期目標期間の評価
		平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	
中期目標	中期計画	A	C	C	B	C
1 経営基盤の強化	不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策	<p>【平成 24】両病院の合計で 43,489 千円の黒字決算、経常収支比率 101.3% 市からの繰入金 490,000 千円（当初：400,000 千円、追加：90,000 千円）</p> <p>【平成 25】両病院の合計で 106,838 千円の赤字決算、経常収支比率 97.1% 市からの繰入金 440,000 千円（当初：380,000 千円、追加：60,000 千円）</p> <p>【平成 26】両病院の合計で 106,723 千円の赤字決算、経常収支比率 97.6% 市からの繰入金 420,000 千円（当初：340,000 千円、追加：80,000 千円）</p>				

<p>2 収益の確保及び費用の節減</p>	<p>を検討します。 経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率100パーセント以上の達成を目指します。</p> <p>診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じます。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。</p>	<p>【平成 27】両病院の合計で 92,868 千円の赤字決算、経常収支比率 97.4% 市からの繰入金 450,000 千円（当初：300,000 千円、追加：150,000 千円）</p> <p>経営成績（繰入金を除く）</p> <table border="1" data-bbox="943 384 1944 624"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>▲154,572 千円</td> <td>▲237,781 千円</td> <td>▲186,038 千円</td> <td>▲257,570 千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>▲291,939 千円</td> <td>▲309,000 千円</td> <td>▲340,685 千円</td> <td>▲285,298 千円</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>▲446,511 千円</td> <td>▲546,781 千円</td> <td>▲526,723 千円</td> <td>▲542,568 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【平成 24】医事課職員を積極的に診療報酬関連研修会に参加させ、今年度の加算・管理料等の新規申請件数は 7 件。備品・消耗品・修繕の依頼伝票を、各部署の管理者の確認印を必須とし、総務課への依頼ルートを 1 本化することで、支出のチェック機能を強化した。入院患者の日常生活品について、患者が業者から直接購入する CS セットを導入し、経費の削減を図った（府中）。</p> <p>【平成 25】医事課は、査定減を減らす取組、外来未収金を減らす取組を強化。病院内の「元気が出る KAIZEN 発表会」で、この取組はベストカイゼン賞を受賞した。総務課は、委託契約の見直しにより、年間約 300 万円のコスト節減を図った。</p> <p>【平成 26】総務課は、前年度比較で材料費対医業収益比率 2.0%減、経費対医業収益比率 1.5%減の経費を削減した。</p>		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	府中市民病院	▲154,572 千円	▲237,781 千円	▲186,038 千円	▲257,570 千円	府中北市民病院	▲291,939 千円	▲309,000 千円	▲340,685 千円	▲285,298 千円	法人全体	▲446,511 千円	▲546,781 千円	▲526,723 千円	▲542,568 千円
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度																		
府中市民病院	▲154,572 千円	▲237,781 千円	▲186,038 千円	▲257,570 千円																		
府中北市民病院	▲291,939 千円	▲309,000 千円	▲340,685 千円	▲285,298 千円																		
法人全体	▲446,511 千円	▲546,781 千円	▲526,723 千円	▲542,568 千円																		

（第 4）その他業務運営に関する重要事項

平成 27 年 12 月、府中市民病院の新病院建築工事が完了し、平成 28 年 2 月から新病院での業務を開始した後、旧病棟の解体、駐車場や外構工事に着手しており、平成 28 年 10 月末に全ての工事が完了する予定である。

新病院の病床数は旧病院と同じく 150 床。1 病床あたり 74 m²で 100 m²以上という病院も多い昨今ではコンパクトな規模である。地震への対策は耐震構造の中では最も高いレベルとしている。柱と柱の間隔を広くとり、将来の機能拡張に容易に対応できるようにした。

病院外観は、歴史の街、木工の街である府中のイメージで、木の色の格子柄をアクセントにしている。府中市病院機構のロゴマークは、府中のローマ字頭文字の「f」と府中市の花である桜の花びらを組み合わせて「支える医療」を表現している。

病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、地域包括ケア体制に向けての医療と介護の総合相談窓口と、食育の情報発信のためのレストランを1階に設け、設備面では、電子カルテ、1.5テスラのMRI、64列CTを新たに導入した。また、施設面では、各病棟のシンボルカラー（ブルー、オレンジ、グリーン）を設定し、病棟の廊下も明るく軽快な色調にすることで、親しみやすい暖かさを表現した。

新病院への医療機器等の投資については、既存の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討した。投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意した。また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めた。

(第4) その他業務運営に関する重要事項		事業年度評価結果				第1期中期目標期間の評価
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
中期目標	中期計画	A	A	A	A	A
1 病院の建て替えへの対応	<p>府中市民病院については、建て替えを行います。病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<p>【平成24】市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、基本設計に取り組んだ（府中）。</p> <p>【平成25】基本設計を完了し、平成26年度から工事に着手。新病院の機能として、地域包括ケアの推進について市と協議、地域包括支援センター（サブセンター）を設計に盛り込んだ（府中）。</p> <p>【平成26】新病棟の建築工事を開始、平成27年末の完成に向けて着々と工事進行。電子カルテシステム導入のための業者を決定した（府中）。</p> <p>【平成27】新病院は平成27年12月末に完成し、平成28年2月1日から業務を開始した。電子カルテシステムを導入しICT地域連携機能を備えた病院になった。新病院の機能として、地域包括ケア体制に向けて医療と介護の総合相談窓口と、食育の情報発信のためのレストランを1階に設けた（府中）。</p> <p>新病院への医療機器等の投資については、既存の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討した。投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意した。また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めた。</p>				

<p>2 医療機器などの更新</p>	<p>医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p>	<p>【平成 24～27】医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定した。</p> <p>【平成 27】新病院への投資は、医療連携を推進するための機能、二次救急輪番制病院としての機能など、業務の安全性や効率化を高めることを重視して行った（府中）。</p> <p>データ提出加算に対応できる機能を備えた医療事務システムの更新と、上下地域での新たな介護サービス事業、24 時間定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所の開設にむけ、事業に必要なシステムを整備した（府中北）。</p> <p>投資的経費</p> <table border="1" data-bbox="943 576 1944 727"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>101,103 千円</td> <td>20,290 千円</td> <td>45,348 千円</td> <td>912,597 千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>31,603 千円</td> <td>58,664 千円</td> <td>18,211 千円</td> <td>27,952 千円</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	府中市民病院	101,103 千円	20,290 千円	45,348 千円	912,597 千円	府中北市民病院	31,603 千円	58,664 千円	18,211 千円	27,952 千円
内訳	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度													
府中市民病院	101,103 千円	20,290 千円	45,348 千円	912,597 千円													
府中北市民病院	31,603 千円	58,664 千円	18,211 千円	27,952 千円													